

1. 申請港概要

- 港湾管理者 富山県
- 担当部署 富山県土木部港湾課
- 地元自治体 富山市、高岡市、射水市
- 伏木富山港は、日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、富山の中心都市圏である富山高岡広域都市圏を背後に擁する港湾であり、富山県を中心に北陸地方の物流拠点として、きわめて重要な役割を担っている。

伏木富山港は、伏木地区、新湊地区、富山地区の3地区から構成され、水深10m以上の大型岸壁を計18バース有し、定期航路が6航路40便/月体制で運航されている。

新湊地区周辺には、本県の基幹産業であるアルミ関連の工場やリサイクル施設が立地し、リサイクル材を再製品化した貨物を国内外に輸移出する取組みが行われており、サーキュラーエコノミーに資する港として貢献している。



2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

○：実績
☆：計画

- 循環資源である金属くずや再利用資材などの取扱いがあり、令和6年の金属くずの取扱貨物量は約18万トンです。また、コンテナ貨物による小口輸送ニーズに対応するとともに、コンテナ貨物及びバルク貨物の双方に対応した港湾機能を活かし、多種多様な循環資源の円滑な受け入れにも対応しています。
- 金属くず等から油を含む汚水が発生する可能性があることから、油水分離槽を設置しています。
- 「災害廃棄物中部ブロック広域連携計画」等により、災害廃棄物の広域処理体制が整備されています。
- ☆ 富山地区には、金属類やプラスチック類などを回収する自動車リサイクル施設などが隣接して立地しており、伏木地区や新湊地区においても、大型車両リサイクル施設やアルミをはじめとした非鉄金属リサイクル施設、太陽光パネルリサイクル施設などのリサイクル関連施設が立地しています。さらに、「富山県企業誘致戦略」において、資源循環産業を含むグリーン分野を重点分野と位置付け、企業誘致を強化しているほか、「富山県サーキュラーエコノミー推進ロードマップ」を策定しており、県を挙げてサーキュラーエコノミーへの移行に積極的に取り組んでいきます。また、港湾においては、循環資源の船舶での受入れ、搬出の拡大を目指しています。

■ 位置図（港湾計画図）



3. その他



伏木地区



新湊地区



富山地区